



【指導事例 1】

1 主 題 「ふるさとの文化を大切にできる心」〔伝統と文化の尊重〕

2 ねらい

地域の伝統や文化を守ってきた先人の努力を知ることを通して、地域の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、アイヌ民族としての誇りをもち、病魔と闘いながら、「アイヌ神謡集」を完成させた知里幸恵の功績に触れることを通して、地域の伝統や文化を大切に、郷土を愛する心情を育むことをねらいとしています。

前半では、アイヌ民族だという理由で周囲に受け入れられず、苦しい生活を送る知里幸恵の様子が示されています。

後半では、金田一京助との出会いをきっかけに、アイヌ民族への誇りをもち命を懸けて、アイヌ民族の伝統と文化を守り抜いた知里幸恵の姿が示されています。

指導に当たっては、知里幸恵が、アイヌ民族の伝統や文化を守ろうと決断するまでの過程を多面的・多角的に話し合わせ、昔から受け継がれている地域の伝統や文化が貴重で、偉大なものであることについて、自分との関わりの中で考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「幸恵のアイヌ民族の伝統や文化を継承しようとする姿について話し合う活動を通して、伝統や文化の大切さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な地域の伝統や文化について確認する。 ○ 昔から受け継がれているものはどのようなものがありますか。また、どうして受け継がれていると思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・祭りは、その年の実りに感謝するため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けとして、日本の伝統と文化（祭りや歌等）に着目することを通して、地域の伝統や文化を想起できるようにする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「アイヌ文化を継承した少女」を読み、話し合う。 ○ 「ここはあなたの来るところじゃないわよ。」と言われたとき、幸恵はどのようなことを考えたでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、差別されなければならないのだろうか。 ・アイヌ民族というだけで差別されて悔しい。 ○ 幸恵が、東京に行くことと決心したとき、心の中で、どのようなことを考えていたでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族の伝統や文化を守るために、東京に行って頑張りたい。 ・東京でも差別されたらと思うと不安になってしまう。 ◎ 幸恵は、どのような思いで原稿を書き続けることを決意したのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民族のために命を懸けても完成させたい。 ・アイヌ語を絶やさないようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ピラサ』などを用いて、アイヌ民族の歴史について説明する。 ・登場人物が、アイヌ民族の伝統や文化を守ろうと決断するまでの過程を多面的・多角的に話し合わせる。 ・登場人物が地域の伝統や文化の大切さに気付いたときの気持ちについて考える場を設ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の伝統や文化のよさ、大切さについて話し合う。 ○ あなたは、地域の中で、昔から受け継がれている歌や踊りなどについて、どのような思いをもっていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・長い間、受け継がれているということは、先人の思いが込められているはずなので、大切にしたいと思う。 ・地域の行事に積極的に参加することで、地域の伝統や文化を理解し、未来に伝えていきたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域を見つめ直し、自己理解を深めることができるようにする。 ■ 地域の伝統や文化の大切さに気づき、それらを守ろうとする心情について、自分との関わりで考えている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※自分の住んでいる地域の伝統や文化を大切にしている人たちの取組などについての話を通して、子どもたちの地域の伝統や文化を大切にしようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統や文化を大切にしようとする心情が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「努力の大切さ」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

地域の伝統や文化を守ってきた先人の努力を知ることを通して、困難があっても、努力しようとする心情を育てる。

3 展開例—②「アイヌ民族の文化を必死で継承しようとする姿を知ることを通して、努力の大切さについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 今までの生活の中で、努力したけれど途中で挫折したり、あきらめたりした経験はありますか。

- ・毎日、家庭学習をしようとしたけれど、すぐにやめてしまった。
- ・毎日、体力つくりのためにグラウンドを走ろうと思ったけれど、続かなかった。
- ・野球の試合で負けてばかりいて、もうやめてしまいたいと思った。

(2) 知里幸恵にはどのような困難があり、なぜ、その困難に立ち向かったのだろうか。

- ・差別されたが、アイヌ民族の伝統や文化を継承するために困難に立ち向かった。
- ・アイヌ民族というだけで周りから仲間外れにされたが、アイヌ民族の伝統や文化の素晴らしさに気付き、本を完成させて、世に広めるために困難に立ち向かった。
- ・どんなに努力しても周りの人が認めてくれなかったが、金田一先生との出会いを通して、先祖が残してくれたユーカラの大切さに気付いたから。

(3) 努力し続けるためには、何が大切なのだろうか。

- ・くじけそうになったとき、目標を確認するなど、自分の心を奮い立たせること。
- ・今まで努力してうれしかったことを思い出すなど、自分自身を励ますこと。
- ・自分の目標を達成するために、自分自身に負けない強い心をもつこと。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

古典などの伝統的な言語文化に関する学習において、本教材を活用し、伝統的な言語文化は人々の思いや願いと共に継承されてきた貴重な文化的価値をもつ言葉であることに気付かせることや、自国の言語を尊重する態度を育てることを通して、伝統と文化を大切に、それらを育んできた先人の努力や願いに対する理解を深めることができるようにする。

■ 社会科

身近な地域の歴史や特産物、伝統工芸等を調べる活動において、郷土の伝統や文化、自然等は、継承、発展しながら未来へ連続していることや、自分もそのつながりの中にいることに気付かせるとともに、知里幸恵の努力に触れることを通して、伝統や文化を継承するための努力や苦労などについても深く考えることができるようにする。

■ 体育科

体育科の授業や運動会、マラソン記録会等の活動において、自分の目標を設定したり、目標に対する自己評価を行ったりする際、本教材を活用し、知里幸恵が命を懸けて原稿の校正をやり遂げたことに触れることを通して、目標達成や自己実現に向けて、くじけずに努力することや、強い意思をもって実行することの大切さについて考えることができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

北海道固有の文化であるアイヌ文化を継承、保存してきた人々について調べる学習において、本教材を活用し、伝統や文化を継承することの大切さについて考えることを通して、アイヌ文化に対する興味・関心を高めることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えたり、各家庭において、自由や責任について話し合ってもらったりすることを通して、自律的で責任ある行動を実践しようとする意欲を高めることができるようにする。